



認知症の困りごと、ご相談ください！

認知症初期集中支援チーム

☆認知症初期集中支援チームとは？

認知症サポート医や保健師、看護師、社会福祉士、作業療法士等で構成された、認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応する支援チームです。

☆対象となる人は？

40歳以上の市民で、自宅で生活をしており、認知症が疑われる又は認知症の症状でお困りの方とその家族です。

*例えばこんな相談・・・

専門医を受診させたいが、本人の拒否が強く困っている

介護サービスを利用したいが、できない

認知症の症状が強くて、対応や介護をどうしたらいいか

☆早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、相談してみることがよいでしょう。

もの忘れがひどい

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断力・理解力が衰える

- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった



時間・場所がわからない

- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える



意欲がなくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

☆早期発見・早期対応が必要な理由

- ◆ 診断で認知症と違う病気とわかれば、治療で症状が改善することがあります。
- ◆ どのタイプの認知症かによって治療方針や対応が違います。
- ◆ 認知症の進行を遅らせることができる場合もあります。
- ◆ 家族など周囲の人が早期から適切に対応することで、穏やかな生活が継続され、介護負担の軽減につながる場合があります。

☆相談から支援への流れ

①まずは、お近くの地域包括支援センターへご相談ください。（ご家族だけの相談でもかまいません）



②専門職が状況をお聞きし、必要な支援等についてチームで検討します。

③医療や介護のサービスにつなげ、その方らしい生活ができるよう支援します。



まずはお電話を！



☆相談はこちらへ

西部 地域包括支援センター	中央 地域包括支援センター	東部 地域包括支援センター
☎ 309-3950	☎ 368-6350	☎ 363-4055
【担当区域】 新田一区、新田二区、新田三区、高橋東一区、高橋東二区、高橋南、高橋北、山王、南宮、市川、浮島、城南	【担当区域】 高崎、東田中、志引、東田中南、新田中、旭ヶ岡、留ヶ谷、伝上山、隅田、向山、東能ヶ田、西能ヶ田、八幡上一、八幡上二、八幡下一、八幡下二、八幡沖	【担当区域】 鶴ヶ谷、丸山、黒石崎、下馬東、下馬西、下馬南、下馬北、笠神東、笠神西、大代東、大代中、大代西、大代南、大代北、桜木東、桜木中、桜木南、桜木北

★事業に関するお問い合わせ★

多賀城市保健福祉部介護・障害福祉課介護支援係

☎ 368-1141